

指導者 今野 俊輔（J T E）  
Jason Gibson(A L T)

1 単元名 Unit 6 グリーン家の人々

2 単元の目標

- 一般動詞の三人称単数現在形を用いて積極的にコミュニケーション活動を行おうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 一般動詞の三人称単数現在形を用いた表現を正しく使って話したり書いたりすることができる。  
(表現の能力)
- 一般動詞の三人称単数現在形を用いた表現を聞いたり読んだりしてその内容を正しく理解することができる。  
(理解の能力)
- 一般動詞の三人称単数現在形を用いた表現の形・意味・用法を正しく理解することができる。  
(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 生徒の実態

本学級の生徒（男子16名，女子18名，合計34名）の多くは，授業にまじめに取り組んでいる。一方，授業での挙手や発表，話したり書いたりすることに消極的な一面が見られる。また，英語を用いたゲームなどには興味を示すものの，家庭学習の習慣を身に付けられず，学習が進むにつれて基礎・基本の定着が不十分となっている生徒の姿も見られ始めた。その結果，英語学習に対して自信がもてず，学習に対して消極的な態度を見せる生徒もいる。

アンケートの結果から，まず，約8割の生徒が，英語学習に意欲的に取り組んでいるという意識をもっていることが分かった。理由として，「活動が楽しいから」「英語を話したり理解したりすることができるようになってうれしいから」「将来英語を使う必要があるから」などが挙げられた。一方，英語学習の入門期であるにも関わらず，2割近くの生徒が，「英語学習が難しい」，「内容が分からない」，「話せない」，「聞き取れない」，「読めない」，「書けない」という理由から，意欲的に取り組むことができないと答えている。また，学習内容が増加し，複雑になるにつれて，少しずつ意欲的でなくなってきたという声もあった。

次に，英語学習において自信をもっている力として，「話す力」を挙げた生徒が最も多く，「書く力」は最も少なかった。また，英語学習を通して身に付けたい力としては，最も多かったのが「話す力」で，「書く力」は最も少なかった。この結果から，同じ「表現」の分野でも，「話す力」の習得に積極的であるのに対し，「書く力」の習得に消極的なのは，「書くことが難しい」，「書けない」という自信のなさが起因していることが分かった。生徒は，自信がある分野の習得・向上には積極的になり，自信がない分野については消極的になっている。言い換えれば，自信をもたせることが，消極的な取組を積極的な取組へと変える手立てとして考えられる。

課題となっている「書いて表現する力」について，イラストを見て自分が思ったことや感じたことを，自由に，全部で10の英文で書くテストを実施したところ，イラストの内容に応じた英文を10文全て書くことができた生徒は全体の1割にも満たなかった。一方，約5割の生徒は，イラストの内容に応じた英文を5文以下しか書くことができなかった。アンケートの結果と併せ，「書いて表現する力」の向上を図る必要がある。

(2) 教材観

本課では，グリーン先生が，カナダに住む姉のリサやその家族，友達を紹介したり，生徒

の質問に答えたりする場面を題材として、一般動詞の三人称単数現在形の表現を用いて、第三者の紹介や説明を行ったり、第三者について対話したりすることで、コミュニケーション能力の基礎を養うことをねらいとしている。

### (3) 指導観

以上のことから、生徒の多くが苦手としている「書いて表現すること」を中心としたコミュニケーション活動を通して、既習や新出の学習内容を身に付けながら、言語運用能力を高め、コミュニケーション能力の基礎を養う必要があると考えた。また、活動を通して、生徒が、自己表現の喜びや「書けるようになった」という達成感を味わうことで、英語学習に意欲的・主体的に取り組む手立てとすることができるのではないかと考えた。

そこで、相手に伝えるためのクリエイティブ・ライティングの工夫を行い、既習の学習内容を生かしながら、一般動詞の三人称単数現在形を用い、自分で考えながら場面に応じて適切に書くことができるようにしていきたい。また、生徒が、学習活動に抵抗感を抱かずに学習内容の定着が図られるよう、身近な話題や具体的な例を活動に取り込む工夫を行いたい。

## 4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
第三者について、紹介や説明、対話を行うコミュニケーション活動に積極的に取り組もうとする。	第三者について、正しく適切に紹介や説明、対話を行うことができる。	第三者についての紹介や説明、対話を聞いたり読んだりして、その内容を正しく理解することができる。	一般動詞の三人称単数現在形の形・意味・用法を正しく理解することができる。

## 5 単元の指導計画 (Unit 6「グリーン家の人々」 5時間扱い)

次	時	学習活動	指導上の工夫
		到達目標	
1次	第1時	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クリエイティブ・ライティング①</div> クリエイティブ・ライティングについて確認しよう ・クリエイティブ・ライティングに関するガイダンスを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリエイティブ・ライティングシートを用い、実際に活動しながら説明することで、活動に対する理解を促し、今後の活動について見通しをもたせる。</li> <li>・身近な話題や具体的な例を内容や、既習の語彙や文構造を取り入れることで、学習活動に抵抗感を抱かせないようにする。</li> </ul>
		・クリエイティブ・ライティング活動の進め方及びルーブリックを用いた自己評価の仕方について理解することができる。	
2次	第2時	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クリエイティブ・ライティング②</div> 家族・友達・有名人を紹介しよう ・第三者を相手に紹介する英	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友達、有名人の写真やイラストを用意し、その人物について紹介文を書くクリエイティブ・ライティング活動を行うことで、活動に興味をもたせると共に、書く内</li> </ul>

		<p>文を書く。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞の三人称単数現在形（肯定文）の形・意味・用法を理解し、書いて表現できる。</li> </ul>	<p>容が深まるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導入では、第三者を1～2文で紹介するクリエイティブ・ライティング活動を行い、一般動詞の三人称単数現在形（肯定文）の表現について、課題を提示する。</li> </ul>
第3時 (本時)	<p><b>クリエイティブ・ライティング<sup>3</sup></b></p> <p>家族・友達・有名人について尋ねよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第三者について、相手に尋ねたり答えたりする英文を書く。</li> </ul> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞の三人称単数現在形（疑問文と応答）の形・意味・用法を理解し、書いて表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時で書いた家族や友達、有名人の紹介文を参考にしながら、その人物について尋ねたり答えたりするクリエイティブ・ライティング活動を行うことで、書く内容が深まるようにする。</li> <li>導入では、第三者について1～2文で尋ねたり答えたりするクリエイティブ・ライティング活動を行い、一般動詞の三人称単数現在形（疑問文）の表現について、課題を提示する。</li> </ul>	
第4時	<p><b>クリエイティブ・ライティング<sup>4</sup></b></p> <p>家族・友達・有名人について詳しく説明しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第三者について、相手に説明する英文を書く。</li> </ul> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞の三人称単数現在形（否定文）の形・意味・用法を理解し、書いて表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2時で書いた家族や友達、有名人の紹介文を参考にしながら、好きではないものや行わないことについて説明するクリエイティブ・ライティング活動を行うことで、書く内容が深まるようにする。</li> <li>導入では、第三者の好きではないものや行わないことについて1～2文で説明するクリエイティブ・ライティング活動を行い、一般動詞の三人称単数現在形（否定文）の表現について、課題を提示する。</li> </ul>	
3次 第5時	<p><b>クリエイティブ・ライティング<sup>5</sup></b></p> <p>家族・友達・有名人について発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第三者について、相手に説明する英文を書いて発表する。</li> <li>発表の内容について質疑・応答する。</li> </ul> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞の三人称単数現在形を用いて書いたり話したりして表現できる。</li> <li>一般動詞の三人称単数現在形を読んだり聞いたりして理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2時から第4時で書いた家族や友達、有名人についてのクリエイティブ・ライティングシートを参考にしながら、発表することを前提として、第三者を紹介・説明するクリエイティブ・ライティング活動を行い、本時の学習内容の定着を図る。</li> <li>書いた英文を読んで発表し、その発表を聞いて質疑・応答することで、4技能を用いる活動へと発展させ、4技能の育成を育成する工夫とする。</li> </ul>	

6 第3時の指導

(1) 目標

- 一般動詞の三人称単数現在形（疑問文）を用いて、第三者について、相手に尋ねたり答えたりする英文を書いて表現できる。（表現の能力）
- 一般動詞の三人称単数現在形（疑問文）の形・意味・用法を理解できる。（言語や文化についての知識・理解）

(2) 準備・資料

ピクチャーカード、フラッシュカード、ループリック、ワークシート（クリエイティブ・ライティングシート）、評価票（自己評価・相互評価）、ステッカー

(3) 展開

学習活動・内容	指導（○全体・◎個別）及び評価		時間
	JTE	ALT	
1 英語によるQ & Aを通して、前時までの学習内容の確認を行うと共に、英語学習の雰囲気作りを行う。 ALT/JTE : How are you? S1 : I'm fine, thank you. And you? ALT/JTE : How is the weather today? S2 : It's sunny. ALT/JTE : What day of the week is it today? S3 : It's Tuesday.	○ より多くの生徒の発表の場となるよう、指名の仕方を工夫する。	○ 前時までの既習の表現を用いて学習内容が確認できるようにすると共に、自然に英語学習の雰囲気になるようにする。 ALT/JTE : How many books do you have? S4 : I have three books. ALT/JTE : What do you do after school? S5 : I play baseball after school.	2分
2 本時の学習課題を確認する。 Creative Writing 5: 家族・友達・有名人について尋ねよう (1) 本時の目標とループリックによる評価基準を提示する。 (2) 第三者について、相手に尋ねたり答えたりする英文をCWシート（1）に書く。	○ 具体的な活動目標を設定することで、生徒の学習活動への意識を高める。 ○ グループワークで、生徒がお互いに教え合ったり確認し合ったりすることで、課題への意識を高めると共に、理解が深まらない生徒や書けない生徒に対応する。		5分
3 本文のReading Comprehensionを通して新出の語彙・文構造を確認する。 (1) 本文の内容に関する、ALTとJTEの対話を通して聞き、一般動詞の三人称単数現在形（疑問文）の形・意味・用法を理解する。 JTE : "Do Lisa <u>likes</u> Kabuki?" ALT : You should say, "Does Lisa <u>like</u> Kabuki?" JTE : Oh, I see. Well, "Yes, she <u>do</u> ". ALT : No, no! You cannot say, "Yes, she <u>do</u> ". JTE : Really? What should I say? 生徒 : "Yes, she <u>does</u> ". (2) 本文について、ALTのモデルを聞き、音読を通して発音を練習する。 (3) 新出語彙について、発音の練習と意味の確認を行う。 (4) Question & Answerを行い、本文の内容を理解する。	○ 前時までに学習した一般動詞の三人称単数現在形の肯定文の用法と関連させながら、一般動詞の三人称の疑問文にはDoesを使うことを強調し、本時の課題について確認させる。 ○ 間違った表現を提示すること ○ JTEの間違いを訂正し、正しい表現の仕方を提示する。 ◎ 理解が深まらない生徒には繰り返し対話を聞かせ、さらに板書と説明を通して理解が深められるようにする。 言語や文化についての知識・理解 一般動詞の三人称単数現在形（疑問文）の形・意味・用法を理解している。（発表）	○ 生徒と共に発音し、生徒が自信をもって発音できるようにする。 ○ 発音のモデルを正しく示す。 ◎ 発表した生徒を賞賛し、ステッカーを与える。	10分
4 CWシート（1）の内容を確認する。 (1) CWシート（1）に書いた英文を見直し、正しい語彙や文構造を理解する。 (2) 全体で発表し、適切な内容や正しい表現を理解する。 (3) ペアで読み合う活動を行う。	◎ 机間指導を通して、新出の語彙や文構造を正しく理解し、活用できているかを確認し、書くことができない生徒には助言する。 ◎ 訂正箇所について、例を交えて示す。 ◎ 机間指導を通して、正しく読んで内容を相手に伝えているかを確認し、活動に意欲的でない生徒や正しく話せない生徒に助言する。	◎ 発表したことを賞賛し、ステッカーを与える。	10分
5 CWシート（2）を使用した表現活動を行う。 (1) 家族・友達・有名人について、相手に尋ねたり答えたりする英文をCWシート（2）に書く。 (2) 書いた英文をグループ内で聞いたり読んだりして、適切な内容や正しい表現を確認して相互評価を行う。 (3) ループリックを用いて自己評価を行うと共に、適切な内容や正しい表現を確認し、自分が書いた英文を訂正する。 (4) ペアで読み合う活動を行う。	◎ 机間指導を通して、活動に意欲的になれない生徒や書くことができない生徒に声かけを行う。 表現 第三者について、相手に尋ねたり答えたりする英文を書いて表現している。 ◎ 内容や表現について、聞いたり読んだりしながら、訂正の必要の有無を正しく判断し、書き手にフィードバックできているかを、机間指導を通して確認し、助言する。 ○ 正しく自己評価できない生徒に助言し、個々の達成度・課題を具体的に気づかせ、次時の学習意欲を高める。 ◎ 机間指導を通して、正しく読んで内容を相手に伝えているかを確認し、活動に意欲的でない生徒や正しく話せない生徒に助言する。	○ 適切な内容や正しい表現の仕方について助言する。	5分 5分 3分
6 次時の確認をし、挨拶をする。			

# Creative Writing 3

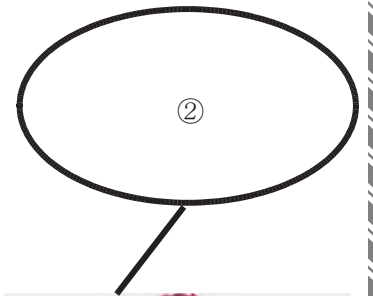
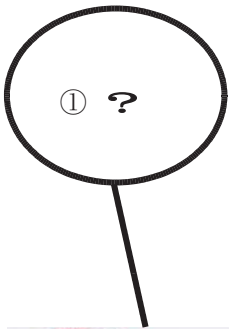
## Unit 6 グリーン家の人々

P. 52 Part 2 リサは日本通？

Class( )No.( )Name( )

(1) あなたが紹介した野球選手のイチロー選手について、友達から質問があります。その会話を①友達からの質問の英文と、②あなたがその質問に答える英文で書きなさい。なお、友達からの質問の内容は、次のア～ケの9つの中から1つ選んで書きなさい。

- ア. ～に住んでいるか
- イ. ～を好きか
- ウ. ～を持っているか
- エ. ～を飼っているか
- オ. ～をよくするか
- カ. ～を欲しがっているか
- キ. ～を話すか
- ク. 運転するか
- ケ. 音楽をよく聴くか



← 友達

あなた →

① 友達：

② あなた：

① 友達：

② あなた：

お互いに読み聞かせをした友達の数

男子1

男子2

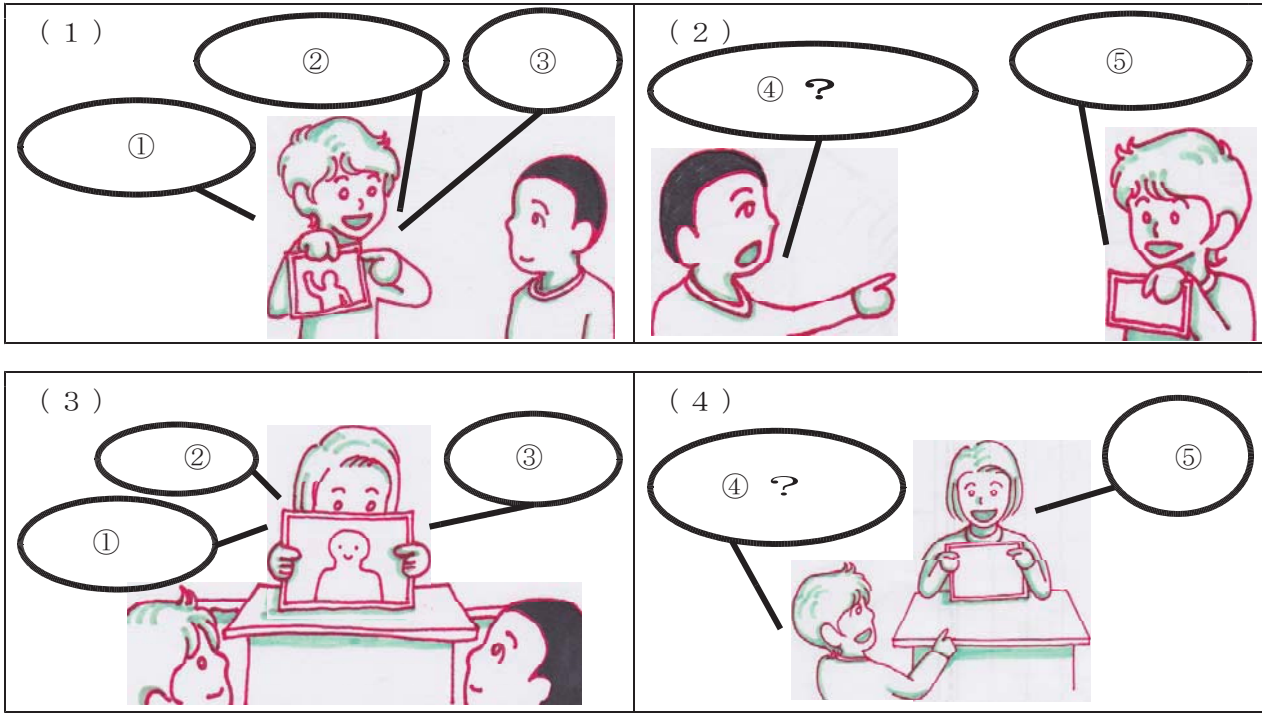
女子1

女子2

合計4人で合格！

(2) あなたの家族や友達、あなたの好きな有名人2人について、まず、紹介して①～③に書きなさい。④には友達からの質問文、⑤にはその質問に対する答えを書いて①～⑤の5つを選んで書きなさい。

- ア. アイ. ウ. エ. オ. カ. キ. ク. ケ. コ.
- 名前 住所 好きな食べ物 欲話 運音
- 前んきつしす 転樂
- でなててすが言すを
- いじいじる葉るよ
- るじりりして
- と・もちい
- こもの
- るもの
- か 聴くか



(1) ① あなた :

② あなた :

③ あなた :

(2) ④ 友達 :

⑤ あなた :

(3) ① あなた :

② あなた :

③ あなた :

(4) ④ 友達 :

⑤ あなた :

お互いに読み聞かせをした友達の人数

男子 1

女子 1

合計 2人で合格!

ルーブリック

(評価対象技能「書くこと」)

学習活動	評価の観点		評価基準					
			A (十分満足できる)		B (おおむね満足できる)		C (努力を要する)	
	外国語 評価の観点	自分の考えを書いて表現する力が養われた生徒の姿 (検証項目)	具体化された観点	A	B	C	D	E
クリエイティブ・ライティング活動	外国語 表現の能力	a 自分の考えを、より多くの英文で書いて表現できる生徒 (量的視点)	・CWシートに書いた英文の数	・英文を9文～10文以上書いている。	・英文を7文～8文書いている。	・英文を5文～6文書いている。	・英文を3文～4文書いている。	・英文を0文～2文書いている。
		b 自分の考えを、より多くの単語で書いて表現できる生徒 (量的視点)	・CWシートに書いた単語の数	・単語を32語～40語以上書いている。	・単語を24語～31語書いている。	・単語を16語～23語書いている。	・単語を8語～15語書いている。	・単語を0語～7語書いている。
		c 自分の考えを、正しい文構造の英文で書いて表現できる生徒 (質的視点)	・CWシートに書いた正しい文構造の英文の数	・正しい文構造の英文を9文～10文以上書いている。	・正しい文構造の英文を7文～8文書いている。	・正しい文構造の英文を5文～6文書いている。	・正しい文構造の英文を3文～4文書いている。	・正しい文構造の英文を0文～2文書いている。
		d 場面に応じた適切な内容の英文を書くことができる生徒 (質的視点)	・CWシートに書いた場面に応じた適切な内容の英文の数	・場面に応じた適切な内容の英文を9文～10文以上書いている。	・場面に応じた適切な内容の英文を7文～8文書いている。	・場面に応じた適切な内容の英文を5文～6文書いている。	・場面に応じた適切な内容の英文を3文～4文書いている。	・場面に応じた適切な内容の英文を0文～2文書いている。
	言語や文化についての知識・理解	e 自分の考えを、正しい単語で書いて表現できる生徒 (質的視点)	・CWシートに書いた正しい綴りの単語の数	・正しい綴りの単語を32語～40語以上書いている。	・正しい綴りの単語を24語～31語書いている。	・正しい綴りの単語を16語～23語書いている。	・正しい綴りの単語を8語～15語書いている。	・正しい綴りの単語を0語～7語書いている。